

科 目 名
ドイツ語Ⅱ GermanⅡ

2年 後期 2単位 選択

福 山 洋

【科目区分】

学士課程共通の学習効果との対応：1-(1), 2-(1), 3-(5)

建築学科教育カリキュラムとの対応：

学習・教育目標	JABEE基準1の(1)の知識・能力	コース名	必修／選択の別	授業時間
A	—	建築総合コース	選択	22.5時間
	A 4	建築計画コース		
	a, f, g	建築構造コース		

【概 要】

ドイツ語Ⅰの続きとして、ドイツ語Ⅱでも現代標準ドイツ語への入門となるようなドイツ語理解の基本を学ぶ。現代標準ドイツ語の全体像を得るためには前期（ドイツ語Ⅰ）・後期（ドイツ語Ⅱ）の1年間が必要であるため、前・後期とも継続して受講することが望ましい。

【到達度目標】

- 前期のドイツ語Ⅰに引き続き、現代標準ドイツ語の理解と運用のための基礎を作る。
- 国際人として生きるための基本的な姿勢、国際理解・異文化理解の姿勢を養う。

【授業計画】

テ ー マ	内 容
① オリエンテーション	後期授業の全般的な説明を行う。
② 形容詞の格変化	形容詞の使用上の特性を学ぶ。
③ 形容詞の名詞化	形容詞から名詞を作るときの注意点について学ぶ。
④ 動詞の3基本形	現在・過去・過去分詞の特徴を学ぶ。
⑤ 過去形	過去概念。
⑥ 現在完了	完了の時間概念を考え、その表現方法を学ぶ。
⑦ 過去完了	完了の時間概念を考え、その表現方法を学ぶ。
⑧ 定関係代名詞	関係代名詞は、接続詞・代名詞・形容詞の役割を同時に演じる。
⑨ 不定関係代名詞	先行詞がない関係代名詞。
⑩ 形容詞の比較	色々なものを比べる表現方法を学ぶ。
⑪ 現在分詞	現在分詞の作り方と使用法を学ぶ。
⑫ zu不定詞	英語のto不定詞を参考にすれば理解の助けになる。
⑬ 受動	受身の文章の深層心理。
⑭ 接続法・間接話法	他者の発言を引用する表現方法。
⑮ 接続法・非現実話法	「もし…だったら…」とか「あの時…しておけば」といった仮定表現。
⑯ 期末テスト	

【授業方法】

講義と演習を行う。

【評価方法】

試験による（100%）。

【教科書・教材】

春日正男 他著「怖くはないぞドイツ文法」朝日出版社
また、独和辞典を選定し、別途推薦する。

【履修上の注意】

学生個々が辞書を検索しながら、与えられたテキストを読解できるようになることが当面の目標である。授業には、教科書と共に辞書も持参すること。